

県大会決勝戦

戦 評 用 紙

(記録抄用)

大会名	令和7年度 第17回 三重県ヤングクラブバレーボール選手権大会 (兼) JVA 第28回全国ヤングクラブバレーボール大会三重県予選大会		参加数	女子 12チーム
期 日	令和7年6月15日	会 場	学校法人伊勢学園 伊勢学園高等学校 体育館	
戦 績	1位	OZAKI FIGHTERS	3位	SHANX
	2位	亀山グランツ	4位	GRIT
戦 評 <u>OZAKI FIGHTERS</u> $\left(\begin{array}{c} 25-19 \\ 25-4 \end{array} \right)$ <u>亀山グランツ</u> 1st (川崎 忍) ・ 2nd (渡邊皐月) ・ SC/AS (堀川万優子 ・ 谷本陽菜) 女子決勝は、2年連続優勝を狙う OZAKI FIGHTERS、初優勝を狙う 亀山グランツの対戦となった。 1セット目、亀山グランツの①早川のサーブで始まり、OZAKI FIGHTERSの⑯岸本のスパイクが決まりサイドアウトをとる。その後⑯岸本のスパイクと⑰小林のサーブエースもあり3ポイント連続得点でリードするが、亀山グランツ④宮地のスパイクをきっかけに追い上げ7-7の同点になり、亀山グランツの効果的なサーブと①早川のスパイクにより逆転し、お互い18点まで両チームのエースの打ち合いとなった。OZAKI FIGHTERSは⑯岸本のスパイクにより22点から25点まで連続得点し1セット目25-19でOZAKI FIGHTERSが取った。 2セット目、OZAKI FIGHTERSの②柊原のサーブで始まり柊原の効果的なサーブでチャンスをつくり、⑯岸本のスパイクがほぼ失点がなく効果的に決まり連続得点で差を広げ、⑰小林のスパイクとサーブポイント、②柊原・②前川のスパイクも決まり、押し切った形で25-4でOZAKI FIGHTERSが勝利し、2年連続の連覇を決めた。  戦評者名 (高柳 裕)				
備考	1. 各種別、男女毎に戦評をする。 2. 戦評は250字程度でまとめる。 3. リーグ戦で決勝戦の無い大会は、大会全体の所感をまとめる。			

三重県バレーボール協会